

一関工業高等専門学校	開講年度	令和06年度(2024年度)	授業科目	分野展開セミナー
科目基礎情報				
科目番号	0014	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	未来創造工学科(電気・電子系)	対象学年	3	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	自作資料			
担当教員	佐藤 和輝, 水穴 裕真			

到達目標

4年次以降の分野について理解をし、関連したテーマで探究活動を行う。また、探究内容についてのプレゼンテーションを行い質疑応答ができることを目標とする。

教育目標: C,D

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
テーマの設定	分野に関連したテーマを設定しており、それについての仮説や調査項目が示されている。	分野に関連したテーマを設定している。	テーマがはっきりしておらず、仮説や調査項目が示されていない。
探究方法と分析の視点	目的とテーマに沿った探究方法によって分析を行っている。	探究方法と分析の視点を示している。	探究方法と分析の視点が示されていない。
探究データの整理	調査や実験などによって得られたデータをもとに何かしらの規則性や法則性を見出すことができる。	探究によって得られたデータをまとめることができる。	探究データを示していない。
結論導出	探究データにもとづいて結論を導き出し、目的に関連付けてまとめることができる。	探究データにもとづいて結論を導き出すことができる。	探究データにもとづいて結果を導き出すことができない。
プレゼンテーション	探究成果を報告書としてまとめ、パワーポイントを用いた発表において質疑応答ができる。	探究成果を報告書としてまとめ、パワーポイントを用いて発表することができる。	探究成果を報告書としてまとめられず、パワーポイントを用いた発表ができない。

学科の到達目標項目との関係

教育目標 C 教育目標 D

教育方法等

概要	電気・電子系の学習内容にとらわれることなく、他の系の学習内容や今後学習する内容にも関連付けたテーマを設定し、複合的な知識を必要とする探究活動を行う。 また、計画と実行、プレゼンテーションなどの素養を身につける。
授業の進め方・方法	インターネットや文献での調査、実験などにより、各自設定したテーマを探究し、その成果をプレゼンテーションできる。
注意点	発表(40%)と報告書(60%)で評価する。50点以上を単位取得とする。報告書の内容については、講義中に説明する。

授業の属性・履修上の区分

<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業
--	--	---------------------------------	---

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	1週	ガイダンス、活動計画立案	探究活動の概要および分野とのつながりを理解できる。 探求活動の計画を立てられる。
	2週	探究活動①	調査・実験・データの整理を行うことができる。
	3週	探究活動②	調査・実験・データの整理を行うことができる。
	4週	探究活動③	調査・実験・データの整理を行うことができる。
	5週	探究活動④	調査・実験・データの整理を行うことができる。
	6週	中間報告書作成	報告書を作成できる。
	7週	探究活動⑤	調査・実験・データの整理を行うことができる。
	8週	探究活動⑥	調査・実験・データの整理を行うことができる。
4thQ	9週	探究活動⑦	調査・実験・データの整理を行うことができる。
	10週	探究活動⑧	調査・実験・データの整理を行うことができる。
	11週	プレゼンテーション資料作成	プレゼンテーション資料を作成することができる。
	12週	発表会	探究テーマのプレゼンテーションができる。
	13週	発表会	探究テーマのプレゼンテーションができる。
	14週	分野展開・系発展科目的紹介	4年および5年次に開講する分野展開・系発展科目の内容が理解できる。
	15週	報告書作成	報告書を作成できる。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	報告書	発表	合計
総合評価割合	60	40	100
基礎的能力	0	0	0

專門的能力	60	40	100
-------	----	----	-----